

本宮市消防団



(右) 福島民友新聞社
神田社長から「民
友旗」を受ける本
宮市消防団の團分
団長
(左) 受賞を祝い市内
をパレードする消
防団員の皆さん

民友旗受賞



栄えある受賞に さらなる誓い

■初の受賞

5月26日に第65回福島県消防大会が福島市で開催され、本宮市消防団が福島民友新聞社より民友旗を受賞しました。

民友旗は、県内消防団最高の賞とされ、他の模範となる活動を行っている消防団に贈られるものです。

本宮市消防団は、過去の水害に対して土のうを積んで備えるとともに、消防ポンプ自動車で排水作業を行うなど水防活動に優れ、火災、土砂災害の対応などが的確で、地域の生命と財産を守る活動が評価され受賞しました。

民友旗の受賞は合併前の旧町村時代を通じて初の受賞となりました。

■消防団の組織

本宮市消防団は、本部、本宮地区隊、白沢地区隊あわせて541人の団員により構成されます。

消防団の階級は、団長、副団長、分団長、副分団長、部長、班長、団員と7階級で構成され、厳格な指揮命令系統により、地域の安全と団員の安全確保を図ります。

また、消防団員は、自らの仕事を持ちながら、災害時には消防団員として活動します。地域の生命と財産を守るという崇高な使命により、消防団活動を行っています。

今回の民友旗受賞は、火消しとしての伝統を守り継ぐ本宮市消防団の皆さんの熱い思いが結集した結果であり、さらなる活躍が期待されます。

民友旗を受賞して

消防団活動とは

現在は、消防機材の進歩は目覚しく、消火能力も高まっていますが、最後に必要なのは「人の力」です。消防団活動で一番大切なのは故郷を愛する気持ちです。生まれ育ったまちで成人を迎えられるのであれば、今日まで育ててもらった地域・人への恩返しのひとつとして消防団活動をしてほしいと思います。

地域の安全・安心のために

今回、民友旗を受賞したことは、大変名誉なことです。現在は合併後の組織体制の見直しを行っていますが、本宮と白沢には、長年の間つくり上げてきた伝統があり、これからもお互いのよい部分を取り入れ、受賞を契機に、より一層一体感のある消防団にします。また、市内にはそれぞれの地区に数多くの伝統ある祭事があります。次世代（子どもたち）のために、団員も積極的に参加するように薦めていきます。そして、今まで以上に地域の安全・安心のために力を尽くし、少しでも市の発展につながればという想いです。



本宮市消防団
團分良修 団長



(上) 本宮地区隊伝統の舟こぎ競争。約1.5キロメートルのコースを全力で舟をこぎます。
(左上) 平成24年本宮支部春季消防連合観閲式。規律正しく、通常点検などが実施された。
(左下) 平成20年、福島県消防操法大会。白沢地区隊第6分団は小型ポンプ操法の部で見事優勝旗を手にした。

